

「第 18 回海洋深層水利用学会全国大会 海洋深層水 2014 伊万里大会」報告

研究企画発表委員会

委員長 清水 勝公

「海洋深層水 2014 伊万里大会」が、本年 11 月 20 日、21 日の両日、佐賀県伊万里市「伊万里市民センター」におきまして、開催されましたことを報告します。

大会の概要は以下の通りです。

【主催】 海洋深層水利用学会

【共催】 伊万里市

【後援】 文部科学省・水産庁

【実行委員会】委員長 池上 康之（佐賀大学海洋エネルギー研究センター教授）

委員 白石 學（一般社団法人マリノフォーラム 21）

池田 知司（株式会社 環境総合テクノス）

吉川 昌之（静岡県水産技術研究所）

開催場所対応委員

東嶋 陽一（伊万里市政策経営部企画政策課）

田中 克典（伊万里市政策経営部企画政策課）

【開催状況】

開会挨拶

高橋 正征（海洋深層水利用学会会長・東京大学名誉教授・高知大学名誉教授）

池上 康之（実行委員長・佐賀大学海洋エネルギー研究センター教授）

塚部 芳和（来賓祝辞・伊万里市市長）

研究発表

海洋・水質／生物・水産／農業・畜産関連：5 題（座長：鈴木達雄・(株)人工海底山脈研究所）

健康・医療関連：6 題（座長：白石 學・一般社団法人マリノフォーラム 21）

利活用システム関連他：7 題（座長：山下和則・(株)エコニクス）

特別シンポジウム：次世代の海洋深層水大規模利用への挑戦

大内一之（東京大学大学院新領域創成科学研究科・特任研究員）

高橋正征（海洋深層水利用学会会長・東京大学名誉教授・高知大学名誉教授）

池上康之（佐賀大学海洋エネルギー研究センター・教授）

實原定幸（(株)ゼネシス・代表取締役社長）

栗島裕治（(株)ジャパン・マリン・ユナイテッド）

清水勝公（清水建設(株)）

劉 金源（台湾国立台東大学学長・台湾深層海水資源利用学会理事長）

【見学会】 佐賀大学海洋エネルギー研究センター及び大川内山視察

【参加状況】 参加者：会員 58 名 一般 29 名 学生 5 名 総員 92 名

（韓国、台湾の海外からも参加を頂きました）

【関連開催事項】

(1) 2014 年度学会賞授与式：4 社が受賞（詳細は当会ホームページ参照）

(2) 海洋深層水利用学会・台湾深層海水資源利用学会 調印式

(3) 全国利用者懇談会：「市制 60 周年記念 海洋深層水利活用市民セミナー」  
（伊万里市主催・当会利用促進委員会 共催）

本大会は前述の通り盛り沢山の関連した式典と催し物があり、中でも当会と「台湾深層海水資源利用学会」との調印式が両学会の代表者により調印されたことは今後の両国間における海洋深層水に関する学術交流を促進することに加え、利活用の拡大を図る上で重要な一歩となるものと期待されます。

一方、本大会における「次世代の海洋深層水大規模利用への挑戦」と銘うって持たれた特別シンポジウムでは6題の特別講演の後、60分間の質疑・フリーディスカッションを一括して行いましたが、持ち時間が不足するほどに活発な意見交流が図られ、有意義なものとなりました。また、一般講演に関しても韓国及び台湾からの各2題を含め、全18題と、演者に最適な持ち時間とされる「15分/題」での発表を確保することができました。

大会開催に当っては伊万里市の塚部市長様をはじめ市役所の皆様及び佐賀大学海洋エネルギー研究センターの先生・学生の方々に多大なご協力を得て準備・運営することができましたことを、本紙面を通じましてお礼を申し上げる次第です。

最後に、会員の皆様方には、日頃、本学会活動にご理解とご協力を賜りまして、当大会の開催責任者として感謝申し上げます。次年度は本大会開始以来3回目となります「久米島町」様での開催となりますが、スケジュール調整の上、多数の御参集を頂きますようお願い申し上げます。



オープニング 池上康之 実行委員長挨拶



学会賞授与式



調印式

左：高橋正征 海洋深層水利用学会 会長  
右：劉金源 台湾深層海水資源利用学会 理事長



特別シンポジウム